

# 下水道局だより


## 未来に引き継ぐ下水道 vol.3


平成31年1月16日発行  
下水道局

☎239-1030 FAX 239-1037

市民の皆さんに津市の下水道事業をもっと知っていただくため、課題や経営状況などをシリーズでお伝えしています。前回まで、下水道使用料収入が不足している厳しい経営状況や平成29年度決算について紹介してきました。今回は汚れた水をきれいにする費用についてお話しします。


### 汚水処理にかかる費用は？

 前回、下水道事業を運営していくために、使用料だけでは足りないから、その不足分を税金で賄っているという話を聞いたけど、どんなことにお金がかかっているの？

 汚れた水をきれいにするための費用の原価が1㎡あたり177円で、使用料の単価118円を上回っているというお話をしたね。

原価の177円は、汚れた水を処理するために1年間で使った23億円を、家庭から下水道へ流れる水の量1,300万㎡で割ったものなんだ。

 23億円はどんなことに使われているの？

 大きく2つの費用に分けられるんだ。右の表を見てみよう。維持管理費として17億円、資本費で6億円使っているんだよ。

### 平成29年度 汚水処理原価の内訳

$$\frac{\text{汚水処理費}(23\text{億}700\text{万円}) \div \text{有収水量}(1,300\text{万}\text{m}^3)^{\ast 1}}{=} = \text{汚水処理原価}177\text{円}^{\ast 2}$$


維持管理費	16億7,000万円
● 汚水管、ポンプ場、処理場など	9億5,600万円
人件費	(1億9,200万円)
委託料	(3億7,400万円)
工事費・修繕費	(1億2,400万円)
その他	(2億6,600万円)
● 三重県への負担金	7億1,400万円
資本費	6億3,700万円
● 借入金の利子	1億7,300万円
● 減価償却費	4億6,400万円

※1 処理水量のうち不明水等を除いた使用料がかかっている水量

※2 1円未満切り捨て


### 維持管理費と資本費


 維持管理費と資本費ってどんな費用なの？


 維持管理費は、汚水を処理したり、下水道管や処理場を維持管理したりするための費用だよ。津市には、耐用年数を超えた古い下水道管や施設が多いから、とてもお金がかかるんだ。




津市中央浄化センター  
(昭和52年供用開始)  
平成28年度から耐震工事を実施中


 三重県への負担金7億円はどんな費用なの？

 平成29年度に津市では汚れた水の8割を三重県の施設で処理しているんだけど、その水量に応じて費用を負担しているんだ。

 維持管理の費用だけで17億円もかかるんだね。でもきちんと維持してもらわないと困るものね。それじゃあ、資本費ってどんな費用なの？

 資本費は、下水道を整備するための借入金の返済費用と、施設の建設などにかかった費用を施設の使える年数で割って計算した1年分の減価償却費だよ。

 借入金の返済ってどれくらい残っているの？

 汚水処理に関する借入金だけで、平成29年度末の残高はまだ約512億円あるんだ。

毎年返済しているんだけど、工事をするためには新しく借りる必要があるから、残高は毎年少しずつしか減らせないんだ。